

ミニチュア展  
——小さきもの世界——

吉徳これくしょん展示室

吉徳資料室が所蔵するコレクションの中には、小さい玩具や人形もかなりの数を占める。今回は「ミニチュア展——小さきもの世界——」と題し、数ある所蔵品の中から厳選して展示している。

象牙で作られた極小サイズの内裏雛や雛道具などの節句人形をはじめ、全国各地の羽子板や郷土玩具、陶磁器や漆器といった日用品のミニチュアの数々が並べられている。手のひらはもちろん、小指の先にも載るほど小さいものばかりだ。

人形にはしっかりと表情が描かれ、館屋の館には彩とりどりの柄が描かれ、隅々まで手を抜かないこだわりが見てとれる。

「小さきもの」は愛好家が多く、長い歴史があるという世界。日本人の手先の器用さや、細かな作業を続けることができる忍耐強さを強く感じた。

同時に展示されている「立版古（たてばんこ）」も必見。明治時代に最盛期を迎え、東京下町で親しまれた夏の風物詩が蘇る。開催は7月31日(日)まで。



上) 象牙製 内裏雛  
江戸時代末期 19世紀

ミニチュアの屋台、売物一つ一つ表情がついている



上) 諸国名玩集  
吉田永光 久保佐四郎作  
昭和初期時代・20世紀  
下) ミニチュア道具  
明治～昭和時代初期・20世紀



上) 諸国羽子板  
吉田永光作  
昭和時代初期・20世紀  
下) 特撰興上達磨  
竹田花川洞  
昭和初期・20世紀



吉徳これくしょん展示室  
株式会社吉徳浅草橋本店 4階

7月31日(日)まで

観覧時間 / 10:00 ~ 17:00  
観覧料 / 無料

